

頭蓋咽頭腫残存に対する内視鏡下摘出術

脳室内腫瘍などに対して積極的に低侵襲内視鏡下摘出術を施行しています。脳部の深部など通常の顕微鏡下手術が困難な部位でも、病変の近くに内視鏡を導入して病変を直接観察しながら手術操作ができるという利点があります。

手術前

手術後

